

## 式辞

中庭の桜が美しい花を開き、草木の芽吹きを感じる、春の暖かさに包まれた今日この佳き日に、多くの保護者のみなさまのご臨席を賜り、大阪府立牧野高等学校入学を挙行できますことは、教職員にとって、このうえない喜びです。誠にありがとうございます。

また、本日はご多忙の中、ご来賓として大阪府議会議員 岩本ゆうすけ 様、牧野高等学校同窓会 牧友会 会長 森浩二 様が、高校生活という新しい生活の門出にあたり、入学されるみなさまを御祝するため、ご臨席いただいております。高いところからではございますが、本校を代表し、御礼申し上げます。

さて、先ほど入学を許可いたしました280名の入学生のみなさま、改めまして、本校へのご入学おめでとうでございます。本校教職員を代表し、みなさまのご入学を心から祝福し、歓迎いたします。みなさんは、3月に実施いたしました入学者選抜試験を乗り越え、本校への入学を果たされました。言い換えると、保護者のみなさまにとっては、9年間の教育を受けさせる義務の、入学生のみなさまにとっては、教育をうける義務の終了を意味します。もちろん、現在の高校進学率は日本においては、98%以上となっていますので、高校進学は当たり前のことかも知れません。しかし、世界を見渡したとき、同じ年齢でいえば、5人に1人、実に3億人以上が学校に通ったことがないという現実があります。学校に通えるということは、当たり前ではないのです。ましてや、高校の学びの本質は、主体性に左右されるとともに、その内容はより専門的になるため、今までの学習とは質が大きく変わります。与えられる学びではなく、自ら求めていく学びに変わりますので、その点は強く意識してください。

また、本年度は本校創立50周年にあたり、節目の年です。入学生のみなさんは、節目の50期生として、高校生活への憧れや、希望などを抱き、胸を膨らませていると思います。反面、通学する区域の拡大や、学びに対する不安も抱いていることでしょうが、恐れることなく、常に挑戦を続けてください。

皆さんもご存知だと思いますが、本校では、スクールミッションとして「自尊」「自浄」「自助」の3つを掲げています。「自尊」は、自らをかけがえのない存在として大切に思うこと、「自浄」は、自らを正しく清らかな存在にしようとする努力すること、「自助」は、自らを支え、助け、決してくじけないことをさします。高校生活において、常に自らの向上を図り続けながら、豊かな人間性を育てて欲しいという思いを込めて定めています。ところで、みなさんは自らが成長するために、最も重要なことは何だと思えますか。

世の中には、自分1人ですべてを成し遂げている人はいません。時には、他者とぶつかり、助けられ、成長させられることがあります。すなわち、自らを大切にし、成長するためには、他者の力が必要ということです。だからこそ、周りにいる個性あるすべての人をしっかりと認めることが求められます。

今はVUCAの時代と言われています。予測不可能な時代に突入しているからこそ、乗り越えるためには、的確に社会課題と向き合ったうえで、自ら課題を発見し、さまざまなことを複合的に分析することにより、課題解決を図って行く総合力が必要になります。求められるのは、他者の意見を聴き取る傾聴力であり、聴き取ったことを、自らの視点で解釈し、咀嚼し、分析し活かしていく力です。だからこそ、多様性を認め、批判せず、全ての人を受け入れ、尊重し、仲間として歩んで欲しいのです。批判することは簡単です。しかし、認めるためには、他者を理解することが必要になります。言い換えると、皆さん自身も、内面を見られる立場にあるということです。その

内面を磨くために、「自尊」「自浄」「自助」の3つを意識してください。

高校3年間は、みなさんが思っているほど長くはありません。あっという間に過ぎていきます。充実した高校生活を送るために、みなさんには、次の3つのことをお願いします。

1つめは、「誰一人かけがえのない、大きな可能性を秘めた個性ある個人であることを意識して大切にシ合って欲しい」ということ、2つめは、「失敗を恐れずに、常に主体的・積極的に多くのことに挑戦して欲しい」ということ、3つめは、「さまざまな学びを通して、その知識を活用し、物事の是非を的確に判断して行動する力を身につけてほしい」ということです。誰一人同じ人間はいません。それぞれ個性ある美しい花を3年後に咲かせてください。

さて、保護者のみなさまにもお願いがあります。入学生のみなさまには、先ほど3つのことをお願いいたしました。とはいえ、高校生活を更に充実したものとするためには、保護者のみなさまのお力添えが必要です。これからさき、お子さまは、多くの仲間と生活をともにします。時には喜び、怒り、争い、失敗しながら成長していくものです。是非、よき相談相手となってください。そして悩める時には、お一人で抱え込まず、学校にご一報ください。教職員一同、ご家庭と協力しながら、お子さまの成長の支援ができるよう、精一杯尽力してまいります。全てのお子さまの成長を支えるためには、学校、保護者、地域が一体となって取り組むことが必要です。学校からも、保護者のみなさまには、今後さまざまなお願いをさせて頂く場合がございますが、その際には、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、教職員一同お預かりいたしました、お子さまの成長に向け、しっかりと支援させて頂きますことをお誓い申し上げますとともに。この場におられます、全てのみなさまのご健勝と、ご多幸をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和7年4月8日

大阪府立牧野高等学校 校長 伊藤 義孝